

平成 29 年度 にしぼる保育園自己評価について
(実施) 平成 29 年 9 月 平成 30 年 3 月

自己評価チェック

できている場合は [○] ややできている場合は [△] 不十分である場合は [×] を記入

【保育の基本】

1	一人一人の子どもの状況や家庭及び地域社会での生活の実態を把握していますか？						
2	子どもが安心感と信頼感を持って活動できるようにしていますか？						
3	子ども主体としての思いや願いを受け止めていますか？						
4	子どもの生活リズムを大切にし、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えていますか？						
5	子どもの発達について理解し、子どもの個人差に十分配慮していますか？						
6	一人一人の発達過程に応じて保育していますか？						
7	子ども相互の関係作りや互いに尊重する心を大切にし、集団における活動を効果あるものにするよう援助していますか？						
8	子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構成していますか？						
9	子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にしていますか？						
10	子どもの身体の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえると共に、一人一人の子どもの気持ちを受け止め、援助していますか？						
11	子どもの健康は、生理的、身体的な育ちとともに、自主性や社会性、豊かな感性の育ちに留意していますか？						
12	子ども自ら周囲に働きかけ、自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助していますか？						
13	入園時はできるだけ個別に対応し、子どもが安定感を得て次第に園生活になじんでいくように配慮していますか？						
14	新たな子どもの入園時には、既に入園している子どもに不安や動揺を与えないよう配慮していますか？						
15	子どもの性差や個人差にも留意し、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないよう配慮していますか？						
集計結果		○	89.3%	△	8.9%	×	1.1%

【指導計画の作成と保育内容】

16	指導計画の作成にあたっては、子ども一人一人の発達過程や状況を十分に踏まえていますか？ [計画作成を担当していない場合は回答しなくてよい] □該当しない
17	指導計画の作成にあたっては、保育所の生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定していますか？
18	保育の過程の記録に基づいて、保育内容の見直しを行い、改善を図っていますか？

19	指導計画の作成にあたっては、具体的なねらいが達成できるようにしていますか？ [計画作成を担当していない場合は回答しなくてよい] <input type="checkbox"/> 該当しない						
20	子どもの生活する姿や発想を大切にして適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるようにしていますか？						
21	子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、保育の内容の工夫を図っていますか？						
22	就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童との交流、職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っていますか？ [低年齢児担当の場合は回答しなくてよい] <input type="checkbox"/> 該当しない						
23	地域の行事や活動に協力し、参加していますか？ <input type="checkbox"/> 該当しない						
24	地域の自然、人材、行事、施設等の資源を積極的に活用し、豊かな生活体験を始め保育内容の充実が図れるよう配慮していますか？ <input type="checkbox"/> 該当しない						
25	自己評価にあたっては、子どもの活動内容やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などに十分に配慮していますか？						
26	自らの保育実践の振り返りや保育の質の向上のための課題を明確にし、職員相互の共通理解をしていますか？						
集計結果		○	66.5%	△	32.7%	×	0.8%

【健康・安全管理】

27	子どもの健康状態並びに発育及び発達状態について、定期的、継続的に、また、必要に応じて随時、把握していますか？						
28	子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちや育つようにしていますか？また、子どもと調理員との関わりはありますか？						
29	指導計画の作成にあたっては、具体的なねらいが達成されるよう、子どもの生活する姿や発想を大切にして適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるようにしていますか？ <input type="checkbox"/> 該当しない						
30	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いのある場合は、必要に応じて、保護者に協力を求めていますか？						
31	保育中の事故防止のために、保育所内外の安全点検に努めていますか？						
32	子どもの健康及び安全について、全職員で共通理解を図っていますか？						
33	子どもの健康および安全について、保育者と連携を図り、保育所の方針や取組について周知するよう努めていますか？						
集計結果		○	75.9%	△	23.1%	×	1.0%

【保護者支援】

34	保護者と共に、子どもの成長の喜びに共有していますか？
35	保護者支援にあたって、保育に関する知識や技術などの保育士の専門性を生かしていますか？

36	一人一人の保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮して、保護者の助けとなるように、適切に支援していますか？
37	子育て等に関する相談や助言にあたっては、保護者の気持ちを受け止めていますか？
38	子どもの利益に反さない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知り得た事柄の秘密保持に留意していますか？
39	子どもの保育との密接な関係の中で、子どもの送迎時の対応、相談や助言、連絡や通信、行事など様々な機会を活用して、保護者に対する支援を行っていますか？
40	保護者と信頼関係を築けるよう、子どもの園での様子、家庭での様子を伝え合いながら、コミュニケーションをとっていますか？
41	保護者に対して、保育所における子どもの様子や日々の保育の意図などを説明し、保護者との相互理解を図れるよう努めていますか？
42	子どもの障害や発達上の課題が見られる場合には、関係機関と連携及び協力を図りつつ、保護者に対する個別の支援を行うよう努めていますか？ [該当する保護者がいない場合は回答しなくてよい] <input type="checkbox"/> 該当しない
43	保護者に育児不安等が見られる場合には、保護者の希望に応じて個別の支援を行うよう努めていますか？ [該当する保護者がいない場合は回答しなくてよい] <input type="checkbox"/> 該当しない
集計結果	○ 85.4% △ 12.4% × 2.2%

【資質向上に向けた姿勢】

44	研修で学んだことや研究の成果を日常の保育に生かしていますか？
45	経験で得た知識や技術を他の保育士と共有し合い、保育の向上に努めていますか？
46	自分自身の課題を持って、主体的に学んでいますか？
47	職員間で報告・連絡・相談はできていますか？
48	職員同士の信頼関係とともに、子どもや保護者との信頼関係を形成していく中で、喜びや意欲を持って保育に当たっていますか？
集計結果	○ 74.4% △ 23.3% × 1.1%

【社会人として】

49	保育士としての服装や身だしなみがきちんとできていますか？
50	遅刻・欠勤をせず、余裕を持って出勤していますか？
51	書類物は期限内にしっかり提出していますか？
52	保育(仕事)は楽しく行っていますか？
53	常に子ども目線で保育していますか？
54	丁寧な言葉遣いで保育していますか？

5 5	毎日笑顔で保育していますか？					
5 6	思いやりと感謝の気持ちで保育していますか？					
集計結果	○	93.8%	△	5.6%	×	0.7%

【総合集計結果】

総合集計結果	○	80.9%	△	17.7%	×	1.2%
--------	---	-------	---	-------	---	------

総評

保育の基本について

保育の基本については職員一人一人の自己評価として概ね出来ているとなっている。

子どもに関することや保護者からの意見・要望等は日々の連絡会議や職員同士のコミュニケーションで情報を共有しいつでも主任、副園長、園長に相談するような環境づくりに努めている。今後とも保育の基本を忘れずに、子どもや保護者の思いや気持ちに寄り添い、子どもの育ちを見守っていききたい。

指導計画の作成と保育内容について

指導計画の作成と保育内容についての自己評価は、あまり高くないので、今後はさまざまな資料や意見を参考に、指導計画の作成においては、なるべく子ども一人ひとりの発達過程や状況を十分に踏まえて具体的なねらいが達成できるように作成していけるようにしたい。

また、指導計画のもと保育内容を適宜見直し改善できるようにしたい。

チェック表に「該当しない」職員もいるために、より現状を把握するためにも質問項目を再度見直しより自園にあった自己評価表を作り直していきたい。

健康・安全管理について

健康・安全管理では、子どもの健康及び安全について全職員で共通理解を図ることを徹底したい。また子どもたちがのびのびと健やかに成長するためにも、安全管理を常に意識し、安心安全な保育環境づくりにつとめていきたい。

保護者支援について

保護者支援については概ねできているとなっている。

今後とも、保護者とのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築き、保護者の思いをしっかりと受け止めながら、保育所における子どもの様子や日々の保育の意図などをていねいに説明し相互理解を図りたい。保護者の思いをしっかりと受け止めながら、保育士としての知識や技術などの専門性を生かし、適切な助言が出来るようにしていきたい。

資質向上に向けた姿勢について

資質向上に向けた姿勢は一人ひとりが保育者としての資質向上できるようにしていきたい。

積極的に研修に参加したり、研修やこれまでの経験等で学んだことを共有し、職員全員が資質向上出来るようにしていきたい。また勉強会での活発な意見交換や学びの場を多くするよう今後とも資質向上に向けた環境づくりへ取り組んでいきたい。

社会人として

社会人としての自己評価は概ね良好である。

今後とも、社会人としてルールとマナーを身につけ、保育者である前にひとりの責任感のある社会人としての成長が出来るような職場環境づくりにつとめていきたい。

保育に関する知識だけでなく一般常識や時事に関することにも興味を持ち、人間性豊かな社会人になってほしい。次年度に向けて質問項目の見直しを行っていきたい。